

# VIDEO MODULATOR CRM-101

ビデオモジュレータキット

## 取扱説明書

ビデオモジュレータキットをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
取付の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しく作業を行ってください。

※車輛の仕様や装備によっては、本キットが取り付けできない場合があります。  
取り付けの前に車輛の仕様や装備をよくご確認の上、作業を始めてください。  
※本キットと取り付けするシステムでは、同じ働きのコードでも色が異なる場合があります。  
接続の前によくご確認の上、同じ働きのコードどうしを接続してください。

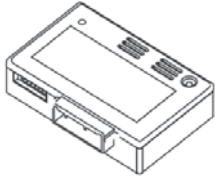
### 仕様

- 電源 DC12V (ACC)  
●アース マイナスアース  
●本体寸法 80mm×50mm×22mm
- 推奨地デジチューナ ユニデン製 DTM410

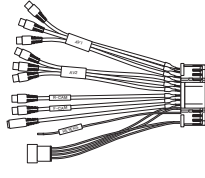
### 対応車種

- 地上アナログテレビチューナ搭載車全般

### キット構成部品



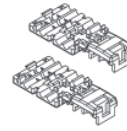
本体  
× 1



ユニット接続コード  
× 1



入力信号切替スイッチ  
× 1



エレクトラタップ  
× 2

### 安全に正しくお使い頂くために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使い頂き、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および、物的損害が想定される内容を示します。

#### 警告

- 本品は DC 12 V (-) アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの 24 V 車には火災の原因となりますので使用しないでください。
- 本品を前方の視界を妨げるステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしないでください。交通事故や怪我の原因となります。
- 本品を取り付ける際に、車体に穴を開ける場合は、電気配線、パイプ類、タンクなどの位置を確認の上、これらと干渉や接触することが無いよう十分注意して行ってください。火災の原因となります。
- 本品を取り付ける際に、車体のボルトやナットを使用して、機器の取付やアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統や、タンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください。制動不能や発火、事故の原因となります。
- 取付作業前には、必ずバッテリーのマイナス (-) 端子を取り外してください。プラス (+) とマイナス (-) 経路のショートによる感電や怪我の原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、結束テープなどで束ねてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。
- 機器を分解したり、改造しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
- 電源コードの被覆を切つて、他の機械の電源を取ることは、絶対に止めてください。電源コードの電流量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量 (アンペア数) のヒューズを使用してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- 万一、水がかかった、異物が入った、煙が出る、変な臭いがあるなどの異常が起きた場合、直ちに使用を中止し、必ずお買いあげの販売店に相談ください。事故、火災、感電の原因となります。
- エアバックの動作を妨げる場所には、絶対に機器の取付や配線をしないでください。交通事故の際、エアバックシステムが正常に機能しない恐れがあります。
- ドリル等で穴空け作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用してください。破片などが目に入って怪我や失明の原因となります。
- 接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁してください。ショートにより火災、感電の原因となります。

#### 注意

- 本品の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため必ずお買いあげの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。
- 必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに、外れることがあり危険です。
- 雨が吹き込む所など、水のかかる場所や湿気、埃、油煙の多い場所への取付は避けてください。機器に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。
- しっかりと固定できない場所や振動の多いところなどへの取付は避けてください。外れて運転の妨げとなり、交通事故や怪我の原因となることがあります。
- 直射日光やヒータの熱風が直接当たるところなどへの取り付けしないでください。機器の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。
- 機器の通風孔や放熱板、ファンをふさがしないでください。内部に熱がこもり、火災原因となることがあります。
- 取扱説明書で指定されたおりに接続してください。正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。
- エアバック装着車に取り付ける場合は、車輛メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバックが誤動作する原因となることがあります。
- 車体のねじ部分、シートレールなどの可動部にコード類を挟み込まないように配線してください。断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
- コードが金属部に触れないように配線してください。金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となる事があります。
- コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。
- 機器の取付場所変更時は安全のため必ずお買いあげの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- 本品を車載用として以外は使用しないでください。感電や怪我の原因となることがあります。

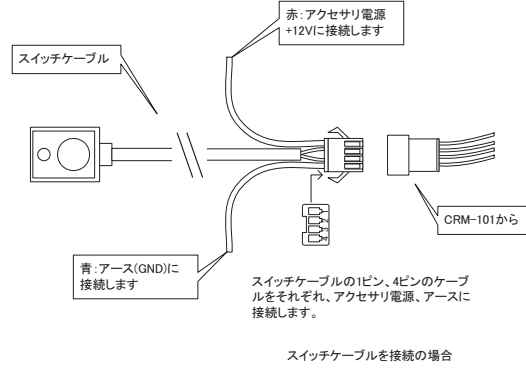
# 取付・接続のしかた

## 接続手順

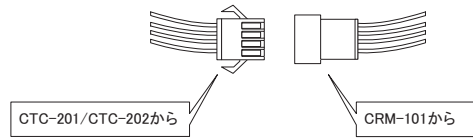
※イグニッションキーを抜いた状態で作業を行って下さい。

- 1 ディップスイッチの設定を行って下さい  
(右頁参照)
- 2 車載チューナのアンテナ線をつなぎ替えて下さい
- 3 AV信号のケーブルをつないで下さい
- 4 入力信号切替スイッチまたは、TVキャンセラーのコネクタを接続して下さい
- 5 ユニット接続ケーブルを本体につないで下さい

## 単体使用での接続



## TVキャンセラーと併用する場合の接続

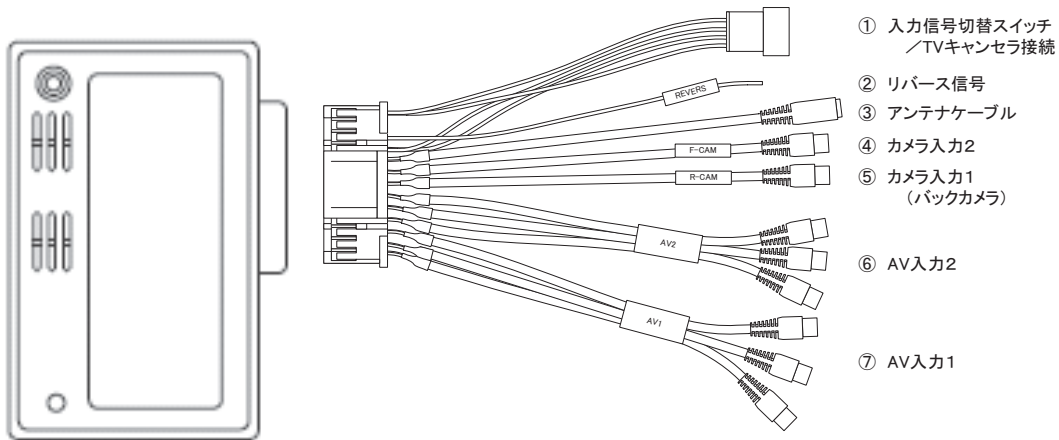


CTC-201/CTC-202の同色のコネクタをCRM-101のコネクタへ接続してください。電源の配線は不要です。

CTC-201/CTC-202を接続の場合

※TVキャンセラーで地デジチューナを操作する場合は、地デジ映像をAV入力1に接続して下さい。

## 接続概要



- ①
- ② ビデオモジュレータ接続
- ③ 地デジ リモコン制御出力
- ④ 地デジ リモコン用赤外LED
- ⑤ リバース信号出力
- ⑥ (予備信号出力 未使用)
- ⑦ アクセサリ電源出力  
・最大1Aの12V電源出力

※ TV キャンセラーで地デジチューナを操作する場合は、地デジ映像を AV 入力1 に接続して下さい。

## 本体接続および、設定方法

※取り付けおよび設定は、イグニッションキーを抜いた状態で行って下さい。

- ① 本体を接続する前に、右頁を参考にして、使用方法と入力信号の設定を行って下さい。
- ② 本体をコネクタに接続して下さい。



※必ずヒューズ回路(5A)を介して接続して下さい。

## 設定のしかた

### ディップスイッチの設定内容

付属のディップスイッチで、以下の設定が出来ます。

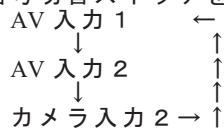


スイッチ番号	機能	説明	
		ON 	OFF 
1	入力信号切替	ステアリングスイッチ長押し CTC-201/202の接続が必要	入力信号切替スイッチ
2	AV入力2	有効	無効
3	カメラ入力2	有効	無効
4	未使用 (OFFにしておいてください)		
5			
6			
7			
8	車載チューナ 表示チャンネル	Ch. 2	Ch. 1

## ご使用方法

### 単体でのご使用方法

- 入力信号切替スイッチを押すごとに、以下の順で入力信号が切り替わります。



ただし、ディップスイッチで設定されていない入力は、飛び越されます。

- リバース状態では、カメラ入力1の映像に切り替わります。

### TVキャンセラーと併用する場合のご使用方法

#### 【地デジチューナ】

地デジチューナのリモコン受光ハーネスの信号線にユニット接続ケーブルの地デジリモコン制御出力を繋ぐと、ステアリングスイッチのトラックアップ/ダウンスイッチで、地デジチューナのチャンネルを切り換えることが可能となります。また、オプションのリモコン用赤外LEDを接続し、その赤外光をリモコン受光部に当てることでも、操作できます。



#### 【ビデオモジュレータ】

- ステアリングスイッチのトラックアップ/ダウンスイッチ長押しで、入力映像の切替が出来ます。
- リバース状態では、カメラ入力1の映像に切り替わります。

※ 車種や、仕様によって、動作しない場合があります。  
 ※ ご使用のシステムによって、動作内容が異なる場合があります。  
 ※ マルチファンクションディスプレイの表示状態によっては、使用できないコマンドがあります。

## 走行中の視聴について

- ・本製品は、運転者以外の同乗者が、走行中にA V映像を視聴するための物です。
- ・運転者が走行中にA V映像を注視することは、道路交通法で禁じられています。

## 保証規定（1年保証）

お客様が、この保証規定に同意頂けない場合、ご購入の製品を使用することなく購入された販売店に返却ください。

インタープラン（株）では、本製品について、ご購入日より1年間の保証期間を設けております。高い信頼性が求められる用途に使用される場合は、システムの故障等の処置に万全を期してください。その場合、その結果に対しての損害賠償責任については弊社は負担致しません。本製品付属の取扱説明書などに沿った正常な使用状態の元で、万一保証期間内に故障、不具合が発生した場合、本保証規定に基づき無償修理・交換対応となります。ただし、次のような場合には、保証期間内であっても有償修理となります。

1. 本保証書（取扱説明書）が無い場合
2. 本保証書に、ご購入日、取付販売店印の記入が無い場合、または、字句が改ざんされている場合
3. 取扱上の誤り、または、不当な改造や修理を原因とする故障および、損傷
4. ご購入後の輸送、移動、落下による故障および、損傷
5. 火災、地震、落雷、風水害、ガス害、塩害、異常電圧および、その他天変地異など、自然災害に原因がある故障および、損傷
6. 他の機器との接続に起因する故障および、損傷

### 免責事項

- お客様が購入された製品についての損害賠償責任は、当該製品の購入代金を限度と致します。
- お客様が購入された製品について隠れた瑕疵があった場合は、無償にて当該瑕疵を修理または、瑕疵の無い製品に交換致します。
- お客様および、第三者の故意または過失と認められる本製品の故障、不具合の発生につきましては弊社では一切責任を負いません。
- 本製品の使用および、不具合の発生によって、二次的に発生した損害（事業の中断および、事業利益の損失）につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- 本製品を装着することにより他の機器に生じた故障および、損傷について、弊社では本製品以外についての修理費等は一切保証しません。

※本保証書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

### ■取付販売店印

### ●ご購入または販売取付日：

20 年 月 日

## インタープラン株式会社

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-3-12石原ビル5F

TEL:03-5215-5771/FAX:03-5215-5772